

【参考】

< 財政基盤強化の種をまく予算制度 >

みんなで“変わる” “変える” 予算の状況

- ◆ 経常的経費では、従来の財政課での査定を廃止し、各部等に配分する予算枠をもとに自律的に部内調整を行いながら予算を編成するという手法をとっている。
- ◆ そして、「みんなで“変わる” “変える” 予算」として、次の17の視点をもとに各所属自らが対象事業すべてを厳密に点検して既存事業の見直しを行い、歳入予算の増加や歳出予算の削減を行った。

《「みんなで“変わる” “変える” 予算」17の視点》

- ①内部事務の精査、②内部事務や事業の集約化、③体制の見直し、④手法の変更・見直し、主体・執行体制の見直し、⑤委託の仕様内容、需用費等の見直し、⑥在庫等の有効活用、⑦公有財産の適正管理・戦略的活用、⑧執行残（決算）額との比較、⑨計画の見直し（平準化）、⑩国・県・他市基準との比較、⑪歳入の確保、⑫社会経済情勢の変化、目的の達成、⑬政策・施策への有効性、⑭公民連携の取組、⑮データやICTの活用による業務の効率化、⑯民営化・委託化、⑰業務の効率化・働き方を見直し

- ◆ この見直しの効果額は、一般財源ベースで4,085万円となった。
⇒ この捻出した財源については、現場の実情に即した予算措置のほか、少子高齢化を背景とした社会保障関係経費の増、まちづくりへの投資などに活用する。

がんばり“見える化” 予算の状況

- ◆ 「がんばり“見える化” 予算」は、各所属が所管する事務事業について、創意工夫、新たな手法・アイデアによる歳入の増収や経費節減の成果を評価し、増収額または節減額の全部または一部を所属部署の翌年度当初予算へ還元する制度。
- ◆ 今回のがんばり“見える化” 予算では、7部署より申請があり、取組みによる効果額の総額は870万2千円であった。そして、各取組みを評価した結果、付与額の総額は407万2千円となった。

- ◆ 主な取組としては以下のとおり。

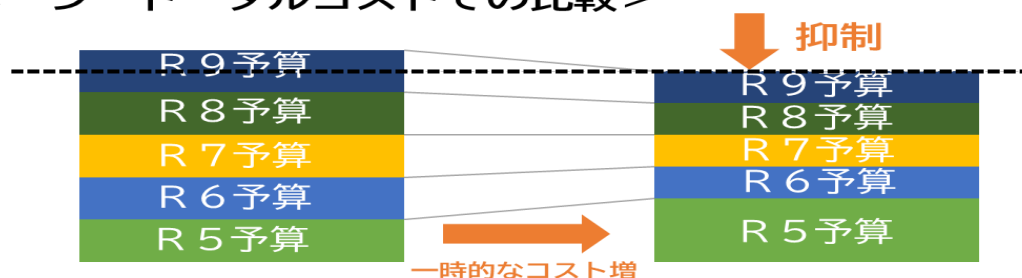
主な取組	所 属	効果額 (千円)	付与額 (千円)
桑名市公共施設予約システムのリプレース	生涯学習・スポーツ課	3, 1 1 5	2, 4 9 2
マチコミアプリ利用による郵送代の削減など	子ども総合相談センター	1 1 4	6 9
高齢者特殊詐欺被害防止対策事業及び高齢者運転免許証自主返納支援事業への特別会計からの繰出金の確保に充てる国庫補助金の確保	防災・危機管理課、介護高齢課	1, 3 4 6	5 3 9

- ◆ がんばり“見える化” 予算付与額は、市民サービス向上や職員の働き方改革・業務効率化に資する経費の予算に優先配分することとしている。上記のがんばり“見える化” 予算付与額407万2千円については、各所属の意向に沿って、23万円を令和5年度予算に反映し、384万2千円を令和6年度予算に反映する。

“長い目で見た” 改革予算の状況

- ◆ “長い目で見た” 改革予算は、経常的経費について、創意工夫のアイデアを基に、一時的な経費は掛かるが、5年以内のトータルコスト（一般財源）での比較では、歳出削減（歳入増収）効果が見込まれるものを特別要求予算枠として取り扱うもの。アイデアはあるものの一時的な経費が掛かることによりそれを断念するケースを無くすため、昨年度は3年以内としていた期間を拡充し5年以内としている。

<イメージ トータルコストでの比較>



- ◆ 今回の“長い目で見た” 改革予算では、1部署より申請があり、5年間のトータルコスト比較による効果額の総額は2万7千円であった。

主な取組	所 属	効果額 (千円)
深谷桑栄市民館において、令和5年度で根本から樹木の伐採を行うことにより、電線破損のリスクを除く。また令和6年度以降は桑栄市民館の樹木剪定は不要となるため、5年間のトータルコストでの抑制を図る。	福祉総務課	2 7